

# 一歩一歩 前進

**錦華公園の改修**  
12月16日「ワークショップ型で公園改修」始まる。  
地域をよく知る住民の意見を聞いてから公園改修の設計に着手することになりました。



**ヒートアイランド、数値の見える化**  
「千代田区の都市化がこのまま進めば、猛暑日が100年で40日(7年)増える」という気象台からの衝撃レポートがあります。さまざまなリスクの前に、私たちは何をすべきでしょうか。まずは共通の認識をベースに話し合うことだとわたしは考えます。  
「千代田区における過去からの気候変動のデータを、来年度早い時期に公表する。」と行政の答弁。

**樹冠を広げる街路樹の剪定へ**  
平成30年度より東京五輪おもてなしの一環として、美しい樹形整備に転換。「今後は、樹木の専門家の意見を聞きながら、維持管理のあり方、適切な剪定を引き続き行おう。」と行政の答弁。

**災害時ゴミ置き場問題**  
台風19号被災地(千葉県南房総市、茨城県大子町)に清掃職員を派遣し継続的な支援を行なっている。大きな課題と認識している。職員の報告からも災害ゴミの処理が大きな課題と認識、これら経験を参考に対策を具体化する。」と行政の答弁。

**人口増による学校不足問題**  
11月29日の一般質問3人全員がこの問題を取り上げた。私の質問には答えなかったが、その後の自民党の方の質問に答えて、「趣向小学校においては、手段を限定することなく全庁的な協力を求め、早急に検討を進め、対応して参ります。」と答弁。やっと動かし・・・。

ほか、「公文書管理のあり方」「文化財の適切な管理」「人口増に伴う遊樂所の不足問題」など2019年取り組んだ課題について、改善の方向性が見えてきました。



6月19日一般質問写真

## 区民の声 コラム 木を育てられない人は人を育てることはできない

木を育てられない人は人を育てることはできない  
という有名な言葉があります。  
警察通りを整備して歩道の外側に自転車道を作ることと異議はありません。路上のパーキングも当然廃止されるべきものと考えます。区有地に立体駐車場を作る方が良いでしょう。  
でもなぜプラタナスの木を切ってしまうのですか。70有余年、日差しから守ってくれた木です。手入れして歩道の中に入れて欲しいと思います。葉が落ちるのは当然で、砂埃りではないのです。自然に触れる気持ちで、「ありがとう」の気持ちで掃除したいです。綺麗な形にしてあげたいです。人間の優しさです。  
私も年を取りました。あまり人のお役に立てません。お荷物だったら私も切ってください。  
もう一つ、街路灯を木のそばに立てないで下さい。木と木の間にしましょう。熱て気が痛みます。プラタナスを切ってしまうのは絶対反対です。木にやさしい人は人にもやさしい人でしょう。

神田 平山みどり

## まちの声 耳をすませば

- ① 警察通りの自転車道整備は中央通りで止まり、その先の平成通りにつながっていません。区別する意味はあるのでしょうか。一八通りの無電柱化も中央通りまで。整備するのなら、その先までつなげていくべきです。
- ② 神田警察通りは、戦後しばらく車道は現在の一方通行でなく相互通行だったそうです。車の交通量が減少し新しい神田警察署もオープンするのですから「相互通行に戻せば」との声も聞えます。
- ③ 錦華公園のようにワークショップで声を拾って欲しい。

**【編集後記】**  
◆政治の世界で30年、自分の力不足を糧に上げて言わせていただければ、東京集中問題や都市計画に精通した政党も政治家も日本に一人もいないように感じています。  
♥12月16日都庁で、千代田区に生まれ育つ女性たちの公述を聞き、まちを大切に思う「心の叫び」に胸が震えました。「このままじゃいけない」と思っている区民市民はたくさんいるのですが、政治がそれを代弁できていない、そのギャップをどうするのか、2020年はここを解消する年になるのではないかと・・・期待しています。

# ちよだの声

【ちよだの声区政報告・活動報告】  
千代田区議会議員 小枝すみ子  
P2 「四番町公共施設」と「日テレ浴場まちづくり」をめぐる経過  
P3 30年ぶりに新たな「公道型」始まる、傍聴記  
p4 一歩一歩前進、区民の声

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階 ちよだの声 TEL.03-3264-2111 (代表) FAX.03-3237-9805  
sumikokoeda@gmail.com 携帯.090-5506-1516 〒101-0051千代田区神田神保町1-16SKL/401号  
※この議会報告は公選法に基づき、有権者名簿を閲覧して送らせていただきました。ご不審の方はお手数ですがお知らせください。

## 2020年の幕明けに 善意のパワーを足し算へ!


**ムダな公共事業に時間とお金を使っている暇はない**  
1990年代、急激な人口減少による学校統廃合=公共施設適正配置構想(コウテキハイ)で地域を二分した千代田区ですが、そのころ小学生だった子どもたちが大人になって、30年後のいま、急激な人口急増でその子どもたちの赤ちゃんが今度は待機児童になっています  
1期目の時、先輩議員や地域住民と相談して、設計図も出来上がっていた小川小跡地総合文化施設計画(100億円相当)の不正をばき、頓挫させました。今はイベントやスポーツ広場として親しまれています。状況に応じて適切な判断をすることが未来のためになるという良い例です。四番町公共施設はどうでしょうか。  
公共事業や個別の開発でコミュニティを分断させるのではなく、皇居を擁し個性的地域を有する千代田の文化

を守るための税制・都市計画を確立するために、一致団結すべきと思います。

**「災害」と「環境」を最優先に**  
16歳の環境活動家グレタさん(スウェーデンの高校生)が、気候変動、温暖化の危機を叫び、世界の子どもたちに大きな影響を与えています。たて続けに災害豪雨を経験した私達は、危機感をリアルに感じています。この図は平成22年版真夏の千代田区熱分布図です。むきだしのコンクリートが高熱を放出していることがよくわかる写真です。  
いのちの視点から、すべてを再検証する2020年にしていきたいと思っています。

**屋上菜園に学ぶ**

三井住友海上火災(暖河台)、アーツ3331(旧機成中)などさまざまな場所で屋上菜園の取り組みが進んでいます。特養ホームや子ども施設など、都会の私たちに可能な有機栽培のすそ野を広げて行きたいものです。



★千代田区のみどり熱分布(平成22年度)概要版よりP5

青色は30℃以下、赤は45℃以上  
樹が多いところほどcoolであることがわかります。

モリガ  
カブと大根  
キンガブ

**千代田区 まめ知識**  
■千代田区人口12/1現在:6万5879人(昨年比+2425人)、3万7154世帯(1480人)  
有権者数:5万2835人 ■特選特権者:約130名 保育所待機児:約180名  
出生数:約700人 ■区の花:桜 区の鳥:白鳥 区の木:松 ■年間財政規模約600億円 基金残高約1150億円

いま、千代田区におきている事の一部をお知らせします。

